

常任委員会 特別委員会



総務文教常任委員会

第6回(9月3日)

- ・ 個人情報保護条例の一部改正について
- ・ 電子計算組織に係る個人情報の保護に関する条例の廃止について
- ・ 北海道市町村総合事務組合規約の変更について
- ・ 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
- ・ 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について
- ・ 津別町手をつなぐ育成会への財産の無償貸付について
- ・ 青少年問題協議会条例の一部改正について
- ・ 津別町立老人憩の家条例の一部改正について
- ・ 旧本岐小学校活用に係る基

産業福祉常任委員会

第5回(8月3日)

- ・ 補正予算について(報告)
- ・ まちなか団地(Ⅲ工区)建設事業建築主体工事の契約の締結について

第6回(9月3日)

- ・ 下水道管理センター電気計装設備改築更新工事の契約の締結について
- ・ 森の健康館及び山村体験宿泊施設の指定管理について
- ・ 国民健康保険税条例の一部改正について
- ・ 介護保険条例の一部改正について
- ・ 認定こども園木塀設置工事について
- ・ 旧青葉幼稚園取り壊しに係

本合意書の取り交わしについて

議会運営委員会

第8回(8月3日)

- ・ 第6回津別町議会臨時会の運営について
- ・ 要望書の取り扱いについて

第9回(9月11日)

- ・ 第7回津別町議会定例会の運営について
- ・ 選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について
- ・ 平成26年度各会計決算の認定について
- ・ 意見書等の取り扱いについて

る補助について

議会広報特別委員会

第14回(10月15日)

- ・ 議会報156号の編集について

決算審査特別委員会

第1回(9月17日)

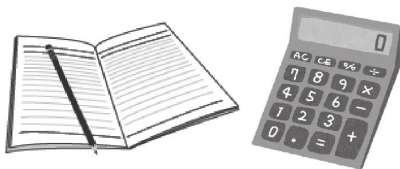
- ・ 正副委員長の互選について

構成

委員長 藤原 議員
副委員長 篠原 議員

委員 佐藤 議員 白馬 議員
村田 議員 茂呂竹 議員
山内 議員 谷川 議員

平成26年度の一般会計、5つの特別会計(国保会計、後期高齢者会計、介護保険会計、下水道会計、簡易水道会計)、上水道事業会計の決算について審査を行うため設置しました。



町長行政報告

報告された事項

第6回臨時会 (8月7日)

(8月7日)

- JIA(日本建築家協会) 全国学生卒業設計コンクール2015
- 台北駐日経済文化代表處陳札幌分處長の来町
- 津別町手をつなぐ育成会からの要望書の提出
- 大野晃先生出版記念講演会
- 「低炭素・循環・自然共生」地域創生実現プラン策定事業
- 第45回つべつ夏まつり
- 北海道日本ハムファイターズ市町村応援大使の取り組み
- 船橋・津別青少年交流協会設立10周年記念事業
- 津別町創生総合戦略会議
- 平成27年度網走地区老人クラブ連合会主催「網走ブロック研修会及び高齢者福祉作品展」
- プレミアム付商品券の販売
- まちなか再生事業
- 丸玉産業株式会社と連携した熱供給事業
- 普通交付税の算定結果

第7回定例会 (9月16日)

(9月16日)

- 国営農地再編整備事業

8月4日～6日
千歳市防災施設、岩内町役場庁舎、岩見沢市環境クリリーンプラザの3カ所の行政視察を行ってきました。

総務文教常任委員会

千歳市防災学習交流センターそなえ

さまざまな災害の疑似体験、防災講座や救急学習、自主防災訓練などができる。

地震体験コーナーでは、震度7までの段階的な地震の疑似体験ができ、地震の恐ろしさを再認識した。

当町は比較的災害の少ない地域ではあるが、安全安心のまちづくりのため、定期的な住民主体の防災訓練の実施と、防災備品は使用方法を含めて住民向けの展示が必要と感

岩内町役場庁舎建設について

新庁舎の施設整備の考え方は、一、誰もが利用しやすい、二、防災拠点

の役割、三、機能性と効率性を重視、四、省資源や省エネ対策など環境に配慮、など4項目を基本としている。

議論経過を町広報やホームページを活用し周知し、懇談会やパブリックコメントにより町民の意見を求めている。

将来、当町においても庁舎建設する際には、用地や形態など議論されると思うが、事務量の把握、必要人員の想定などが求められることになる。



今年5月から供用開始の岩内町役場

岩見沢市環境クリリーンプラザいわ☆ぴか

平成24年度から10年間のごみ処理基本方針と施策を策定。一、市民と行政の共同、二、環境教育、三、コストの最大限圧縮、四、持続可能な住環境づくりとして、将来の負担を減らす処理方法を基本とした。

当町の懸案事項である最終

処分場の建設にあたっては、施設の建設だけでなく、将来のごみ処理広域化のビジョンを、近隣市町と協議しながら構築する必要性を感じた。

9月3日開催の常任委員会について、主な協議内容をお知らせします。

産業福祉常任委員会

森の健康館及び山村体験宿泊施設の指定管理について

委員

現在の指定管理者への年間の委託料は千500万円だが、今後の見込みとして同じと考えているのか。

先般、従業員の募集チラシをみたが、経営状況と雇用の確保を考えると、予定している委託料を超える条件が提示されたときにはどのようなように考えるのか。

担当課

従業員の関係は、非常に苦戦しているようだが、現在、スタッフは17人で津別出身者は6人。何とか津別から職員を採用したいという考えがある。委託料については、最大でこれまでと同額の千500万円、契約期間は最低3年間と



いう形で請けてもらいたい。もし、条件が合わないときは、町長・副町長と協議の上、先方も話し合い、継続してもらいたいと考えている。

委員

町民の評判、利用料金、設備の不備について。今、カラオケルームが使えない。

担当課

評判ということでは賛否両論である。料金については、なるべく町民の理解が得られる価格設定をと考えている。カラオケルームの音が2階に響き苦情があったため、使用していない状態だが、ホテルと対応策を協議したい。

委員

町民の口コミで人を勧誘できるように、今後も努力をお願いしたい。

～議会の録画を配信しています～

インターネットを利用した定例会の録画配信を行います。町のホームページにアクセスしてご覧ください。

<http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/> から「議会インターネット中継」をクリック。

- ふるさと納税
- プレミアム付商品券の再販売
- 第1回北網圏地域医療構想調整会議
- ジャガイモシロシストセンチュウの確認
- まちなか再生事業
- 夏のスポーツ合宿
- 津別町創生総合戦略会議
- 緊急時における輸送に関する協定の締結
- 交通事故死ゼロ日運動
- 津別町手をつなぐ育成会への町有施設の貸し付け
- 建設工事等の発注状況

議会日誌

7月

30～31日 オホーツク圏活性化期成会夏季要望
(東京都)

8月

3日 第5回産業福祉常任委員会
第8回議会運営委員会

4～6日 総務文教常任委員会道内行政視察
(千歳市、岩内町、岩見沢市)

7日 第6回津別町議会臨時会

20日 網走地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会定期総会
(北見市)

24日 筑波大生と議会議員との意見交換会

26～28日 産業福祉常任委員会道内行政視察
(幕別町、南幌町、長沼町、旭川市)

9月

1日 網走郡下町議会議長・副議長会議
(大空町)

3日 第6回総務文教常任委員会
第6回産業福祉常任委員会

11日 第9回議会運営委員会

16～17日 第7回津別町議会定例会

16日 第3回全員協議会

17日 第1回決算審査特別委員会

10月

5日 当別町議会総務文教常任委員会視察
来町

6日 議員自主研修会

15日 第14回議会広報特別委員会

■林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

町議会も今年3月から、折り返しになりました。課題は沢山ありますが、町民と議会をより身近なものにするため、北海道町村議会議長会や、新潟県立大学から講師を招いて、勉強しています。町民の皆様からもご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。
(乃村)

歯車

意見書

関係行政庁へ
提出しました

■介護報酬の再改定を求める意見書

【要旨】

平成27年4月より実施された介護報酬は、介護サービスの充実にプラス0.56%、処遇改善プラス1.65%を除くとマイナス4.48%の大幅なマイナス改定となり、事業の継続が困難になるほどの下げ幅となっています。

厚生労働省は、今回の大幅切り下げの理由として「社会福祉法人の内部留保」を挙げていますが、地域住民の介護を守るほとんどの介護事業者は、改定前の介護報酬のなかでさえ、内部留保どころか介護労働者の賃金確保で精いっぱい状況です。都市部で利益を上げる一握りの事業者を例に挙げ、「介護は儲かっている」との判断は明確な誤りです。広大な過疎地を抱える北海道では利用者確保も難しく、事業所の撤退が相次ぎ、訪問看護などいくつかのサービスが利用できない自治体もあります。

介護現場には看護師・ケアマネージャー・事務職など多様な職種が働いています。介護職場全体のバランスの取れた「処遇改善」には、加算ではなく介護報酬自体の上げが必要です。

国が「医療介護総合法」のなかで、介護保険制度の運営自体を自治体に丸投げしようとするなか、住民の介護を守り、地域の介護資源を維持させるためには、介護経営の維持と、確保が困難である介護労働者の大幅な処遇改善が実施可能な、利用者負担によらない介護報酬の「大幅プラス改定」での見直しが不可欠となっています。

以上の実態を踏まえ、以下の事項について要望します。

1. 次年度予算において、介護事業所と介護労働者が充実したサービスを提供できるよう、介護報酬のマイナス改定を見直しすること。

は ぐ る ま

今年も早いもので、雪の便りが届く季節になりました。天候は春から比較的順調で、春の蒔き付けは平年並みに終わりましたが、6月末から7月始めの曇天と雨で豊作になりました。また、秋のイモや玉葱の収穫時期には、毎日のように雨が降り、収穫には大変苦労しました。秋まき小麦の播種が平年より遅くなり、来年の作柄が心配です。昭和の時代は、9月になると霜の心配がありました。温暖化で霜が降らないで雪が降るようになりました。町も炭酸ガスの排出の少ない木材（成長の過程で炭酸ガスを吸収するので排出はゼロです）の未利用材の活用についても研究しています。